

東京都NIE推進協議会 9月小学校定例部会

江東区立東雲小学校 白井 史朗

1. メディアリテラシーを扱った教材開発案

前回の反省のもと、試行錯誤
しかし、ユネスコの
メディア情報リテラシーは、
先行研究が少なく断念。

文部科学省の
情報活用能力は、
ICTに偏りすぎている。

資料

メディアリテラシーに着目。

定義

メディアの役割を理解し、

各メディアの特性を知り、

情報を吟味・評価して

発信のモラルを身につけ、社会参画する力

(参照:NIEホームページ <https://nie.jp/media-literacy/>)

5つの力を(勝手に)設定

- 1 メディアを読み解く力
- 2 情報を批判的に読み解く力
- 3 メディアを活用する力
- 4 責任あるコミュニケーション力
- 5 メディアの特性を理解する力

5つの力を身に付けるための
総合的な学習の時間(全10時間)を計画。

「めざせ 情報の達人！ ～メディアのひみつ探検隊～」

メディアを読み解く力

- ①情報の切り取りと偏りを見つけよう！
- ②情報探偵になろう！（ニュースをくらべよう 伝え方のちがいを知ろう。）

- ①肯定的な記事と否定的な記事をくらべることで、伝える人や見方によって、受け取る印象が異なることを体験する。
- ②マスメディアとオンラインメディアを比較し、情報の発信者（個人、企業、新聞社や放送局など）によって、どう異なるのかを考える。

情報を批判的に読み解く力

③情報探偵になろう！
Ⅱ（信頼できる情報について考えよう 大手メディアとSNS）

④賛成・反対？いろんな角度で見よう（意見をくらべよう）

③新聞記事とSNSの情報をくらべる。偽情報について知り、信頼性や公平性について考える。

④対立する意見がある情報について、お互いの意見を知り、立場によるちがいと客観的な情報について考える。

メディアを
活用する
力

⑤情報探偵になろう！Ⅲ（目的によって、メディアを選ぼう）

⑥情報を伝え合おう！

⑤天気予報やレシピ、遊び、スポーツなど目的を設定し、メディアの特性について考える。

⑥調べたことを発表し合い、メディアの特性について考える。

責任
あるコ
ミュニ
ケー
ション
力

⑦だれもが発信者！
言葉と画像の責任（だ
めな投稿を考えよう）
⑧責任あるコミュニ
ケーションとは！
（SNSと上手に付き合
うためには）

⑦プライバシーや著作
権、不適切な言動につ
いての投稿から、SNS
の使い方を考える。
⑧プライバシーや著作
権について理解し、責
任ある発信者にとって
何が大切であるかを
考える。

メディア
の特性
を理解
する力

⑨好きな動画、ほんとに
選んだ？フィルターバブ
ルについて知ろう。

⑩みんなの声を聴いてみ
よう！エコーチェンバー
から抜け出すには。

⑨インターネットの広告に
は、アルゴリズムが使わ
れていること、そのこと
によって、フィルターバブ
ルが起こることを知る。

⑩似た意見の人達と話し
たり、情報を集めたりする
活動を通して、エコーチェ
ンバーが起こることを知
る。

2 長期休みにおける新聞の活用

毎週水曜日に児童に動画とクイズを配信

1回30秒～50秒

クイズは、

簡単で、

少ししか関係ないもの

(著作権の関係)

児童の反応

- ・3分の1以上の児童がすぐに反応。
- ・動画だけを見る児童も。
- ・保護者と記事について話した児童も複数。
- ・夏休み以降も続けて欲しい。
- ・東雲小学校が新聞提供を受けていることを知り「もっとバリューを」